

寒川町立小・中学校適正化等検討に係る オンライン地域懇談会 実施報告

1 趣旨

学校適正化等検討を行う一環として、地域住民との情報共有や意見交換を行い、(仮称)寒川町立小・中学校適正化等基本計画をより実行性のある計画とするため。

2 主催

寒川町教育委員会 教育政策課

3 日時

(1) 令和4年3月12日(土)

① 10:00~12:10

4 場所

(1) オンライン(ZOOM)

5 参加者

11名(内検討委員会委員3名)

6 概要

事務局から寒川町立小・中学校適正化等基本方針(案)について、概要を説明し、その後参加者と意見交換を行った。

(1) 事務局より「寒川町立小・中学校適正化等基本方針(案)」について説明

(2) 意見交換概要

参加者からの主な意見は次のとおり。(要約)

◆周知について

意見募集について、何を検討するから意見を募集しますなど、具体的に示す必要がある。
現状と目指す姿とのギャップを明確にする必要がある。ソフト、ハード、コスト面、メリット、デメリットなど踏まえて提示したうえで意見を求めた方がよい。
「マチコミメール」の活用を検討してはどうか。
町からの提案を町民の皆さんに知ってもらうためには、身近に感じてもらうための工夫が必要。

◆地域（関係者）を交えた検討について

今回のオンライン地域懇談会はすごくよいと思うが、今回10数名程度しか参加していないので、住民、関係者を巻き込む方法を検討し、実施していく必要がある。
懇談会の開催について、数を増やしたり、平日と週末を交えたりすれば、参加者が増えるのではないか。
懇談会の参加時間についても、3時間程度あると参加者の発言時間を確保できるのではないか。
子どもたちも是非論議に入れたい。
学区ごとに、教員、ワーキンググループを作って、十分に話し合いを繰り返すことが必要ではないか。その際、保護者の方は時間的な余裕がないため、そこも考慮して全体計画に織り込んでいただけるとよい。
学びの多様性をどう実現していくか。住民の方や関係者からの意見を積み重ねていければいいと思う。住民と協働して進めているところは上手くいっている事例がある。
学びの多様性をどう実現していくか。住民の方や関係者からの意見を積み重ねていければいいと思う。住民と協働して進めているところは上手くいっている事例がある。
地域懇談会では参加者同士で意見やアイデアを出し合って、方向性を出していければよいと考えている。

◆地域（関係者）を交えた検討について（続き）

地域との連携は大事だと出ているが、時間をかけなければダメだと思う。
色々な方の意見を聞いて、将来の学校をどうしていくかを検討していただきたい。
学校（地区）毎に状況が異なるため、それぞれで説明会や懇談会をやっていくべき。
保護者も忙しく資料を見切れないので、分野（テーマ）を小分けして、懇談会等を開催してもよい。
保護者が参加しやすい環境を整えてもらいたい。
住民と共に考える回数を確保することが必要。
今回は計画策定のための懇談会だが、計画策定後も環境は変化していくため、住民が検討に入っていくことを継続していければよいと思う。 またその場づくりや仕組みづくりは町でリードできると思う。

◆多様な教育について

学校（施設）の中だけの話という印象。状況の異なる多様な子どもがいる中で、それぞれに対応できる教育環境を整えていくべき。
海外の学校では多様性が当たり前のこととして認識されている。
地域の中の学校としては、現在の課題を解決できない状況に来ており、在り方を考えていくべき時期に来ているかもしれない。

◆少人数学級について

国では小学校は35人学級にすることが決まったが、今後中学校や小学校でもさらに30人やそれ以下にしていくというようなことも踏まえ、町民に提案して検討していく必要があるのではないか。
少人数にしても、20～30人となる。年齢も同じ。その枠から考えを広げる必要があるのではないか。

◆その他

<p>今後の適正化に向けた検討の手続き、流れについて確認させてもらいたい。 ※（事務局回答）今後のスケジュール概要について説明</p>
<p>概念的なことが書かれているが、具体的にどういくことを考えているか。 ※（事務局回答）単なる老朽化対策のみではなく、ソフト面や ICT、コロナ対応できる環境整備も踏まえて、教室の広さなど将来的には検討していく。</p>
<p>共同的な学びはクラスの枠の概念にこだわらず、年代を超えたディスカッションやチームティーチングによるアクティブラーニングなどを自分たちで考えながらやっていけると考えています。</p>
<p>文科省や県も方針を出しているので、ここから解きほぐして検討を進めた方がよいのではないか。</p>
<p>自分の意見を発信していける子どもを育成する。社会に対してのアプローチができることや異なる意見を理解したうえで自分の意見を言える力を養うことが、あるべき教育の一つとなるのではないか。</p>
<p>前提の計画をもとに進めている感じがするが、学校再編は根本からやり直さないとうまくいかないと思う。</p>
<p>子どもの興味関心のある分野を学ぶことができるような仕組みが必要ではないか。</p>
<p>今回は将来的な検討の場であるが、今日出た意見の中にはすぐにでも検討・対応できることもあると思うので、改善や実現に向けて取り組んでもらいたい。</p>
<p>真の意味でのインクルーシブ教育を実現するためには、施設を大きく変えていく必要がある。</p>